

金山南ビル10周年記念企画展

よみがえ フォトモで甦る

フォトモ製作：系崎公朗

金山 の記憶と 風景



昭和50年代に撮影された「名鉄金山橋駅周辺」の写真を加工し、立体空間を再構成した「復元フォトモ」。
フォトモとは、フォトグラフ(写真)+モデル(模型)からの造語です。



入場無料

開催期間

平成21年3月17日(火)～5月17日(日)

休館日/月曜日(5/4を除く)、5/7(木)

場所

名古屋都市センター11階 まちづくり広場

(名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル11階)

金山南ビル10周年記念企画展

よみがえ フォトモで甦る 金山の記憶と風景



金山南ビルが完成し、名古屋都市センターが移転してから10年の節目の年を迎えます。

現在、金山地区は、金山南ビルの建設を始めとする各種の整備によって、交通の結節点として、また、広域の交流拠点として人々の活気にあふれたまちとなっています。

この企画展では、金山のまちの変遷をテーマに、美術家であり写真家である糸崎公朗氏により製作された「復元フォトモ」を展示します。「フォトモ」とはフォトグラフ(写真)+モデル(模型)からの造語で、写真に写ったモノを切り抜き、立体的に再構成した「本当に飛び出す」立体写真です。

今回は、市民の皆様などからご提供いただいた昭和時代の写真を素材に、糸崎氏が独自の技法で立体化した「復元フォトモ」によって、金山の記憶と風景がリアルによみがえります。

展示内容

フォトモ

- 巨大な「復元フォトモ」で、路面電車(名古屋市電)が甦る!
- リアルで精巧な「復元フォトモ」により、昔の金山のまちを再現

パネル展示

- 歴史年表や地図で金山のまちの移り変わりを紹介

写真展示

- 昭和30-60年代の金山周辺のまちの写真を展示



昭和40年代 市電金山橋電停一帯



昭和55年 名鉄金山橋駅構内



昭和40年代 国鉄金山駅一帯



昭和38年 金山～鶴舞間の中央線

糸崎公朗氏 略歴

1965年、長野県生まれ。東京造形大学卒業。写真家・美術家。「非人称芸術」というコンセプトのもと、「フォトモ」や「ツギラマ」といった独自の写真表現を行なう。著書に『フォトモの物件』(アートン新社)など。ほか個展、ワークショップなど多数。

金山南ビル10周年記念企画展

よみがえ フォトモで甦る金山の記憶と風景

期 間 平成21年3月17日(火)～5月17日(日)
休館日/月曜日(5/4を除く)、5/7(木)

場 所 名古屋都市センター11階 まちづくり広場

時 間 火～木曜日/10:00～18:00
金曜日/10:00～20:00
土・日曜日、祝日、振替休日/10:00～17:00

問い合わせ先 財団法人名古屋都市センター企画課
〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル内
TEL 052-678-2212 FAX 052-678-2210
URL <http://www.nui.or.jp>



車でお越しの方は、公共有料駐車場金山駅南駐車場をご利用ください。

* この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。